

2019/20 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報



第 2656 回例会 2019 年 7 月 3 日 (水)

SAA/ 宮武会員 会報担当 / 川島事務局員

事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粋

- 点 鐘 篠田会長
- ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト
- お客様 ガバナー補佐 時田清二 様
市原中央RC会長 宮寺仁 様
市原中央RC幹事 田島修 様
袖ヶ浦RC会長 津留三枝子 様
袖ヶ浦RC幹事 鵜田政明 様

●会長挨拶



会長挨拶・運営方針は次ページに掲載

■委員会報告等

長期計画委員会 平野会員 (クラブの活性化と地域貢献を目指し活動します。)

会員研修委員会 山本会員 (ロータリー情報について会員が共有できるよう活動します。)

活動計画については活動計画書記載通り

■ニコニコ・ソーリー

時田ガバナー補佐 一年間宜しくお祝い致します。

市原中央RC 篠田会長・福原幹事新年度誠にありがとうございます。

宮寺会長・田島幹事 素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。

袖ヶ浦RC 本日は他クラブのクラブ協議会を興味津々で参りました。勉強させていただきます。

津留会長・鵜田幹事 幹事鵜田共々どうぞよろしくお願い致します。

小池清二会員 第4グループガバナー補佐時田様袖ヶ浦RC会長幹事様、市原中央RC会長幹事様一年間のご指導宜しくお祝い申し上げます。

西村美和子会員 篠田会長・福原幹事一年間健康に留意され市原ロータリーの為にご活躍を心よりお祈り申し上げます。

始関信夫会員 篠田・福原年度が所期の目的を達成し、会員一同が充実した一年でありますよう祈念致します。

三木敏靖会員 長田直前会長・箕輪直前幹事ご苦労様でした。篠田会長・福原幹事お世話になります。

本郷雅嗣会員 長田直前会長・箕輪直前幹事一年間お疲れ様でした、又篠田会長・福原幹事一年間頑張ってください。そしてよろしくお願い致します。

会員有志一同 篠田会長・福原幹事一年間よろしくお願い致します。応援しています。時田ガバナー補佐ご指導よろしくお願い致します。

篠田会長・福原幹事 一年間よろしくお願い致します。

■誕生祝 山崎克哉会員 榎原大二郎会員

■結婚祝 無し

■出席報告 前々回確定 64.58% 本日出席 36 名

欠席 16 名 本日出席率 70.58%

■点 鐘 篠田会長

本日のメインプログラム

■理事会報告

■結婚・誕生祝い

■バッジ交換式・会長幹事就任挨拶

■時田ガバナー補佐ご挨拶

■クラブ協議会 (活動計画発表)

2019-2020 年度

市原ロータリークラブ 会長挨拶・運営方針

令和元年 7 月 3 日

2019-2020 年会長 篠田美幸

本日は、第 4 G 時田ガバナー補佐をはじめ、千葉南 RC より杉本会長、酒井幹事。市原中央 RC より宮寺会長、田島幹事。千葉北 RC より神長会長、吉田幹事。千葉緑 RC より武村会長、永杉幹事。千葉港 RC より藤本会長、荒井幹事。袖ヶ浦 RC より津留会長、鶴田幹事。皆様ようこそお越しいただきありがとうございます。今年 1 年はもとより、今後とも末永いお付き合いをよろしく願いいたします。

2019-20 年度のスタートに当たり、長田直前会長、箕輪直前幹事、一年間お疲れ様でした。今年度、委員長及び会員の皆様にご協力をいただき、無事に年度最初の例会を迎える事が出来ました事に感謝いたします。

私は、去る 2 月 16 日と 3 月 24 日の 2 日間に渡り、会長エレクト研修セミナーに参加して会長となる必須条件を満たしました。私には身に余る役職ですが、会長の職務を果たす所存です。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

今年度 R I 会長は、米国アラバマ州のロータリークラブに所属する マーク・ダニエル・マローニー氏（職業分類は弁護士）です。マローニー会長は、国際協議会第 1 回本会議において、2019-20 年度の R I テーマを「ロータリーは世界をつなぐ」（英文 ROTARY CONNECTS The WORLD）と、発表されました。

ここで、R I 会長の挨拶ビデオメッセージを見ていただきたい所ですが、後ほど、事務局より YouTube のアドレスをお送り致しますので一度お聞きください。

メッセージの中で 4 つの協調事項を掲げました

- 1) ロータリーを成長させる：会員増強。
- 2) 家族を参加させる：若い世代をありのままに迎え入れる必要がある。
- 3) ロータリーのリーダーになる道を拓く：ロー

タリーの梯子は上がるのが難しいものであるべきではない。その必要もない。各地区でロータリーのリーダーシップの文化を変え始めて欲しい。

- 4) 国際連合との歴史的な関係に焦点を置く：2020 年はロータリーの 115 周年に当たります。「私たちロータリアンは、世界で、地域で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」奉仕と友情を通じて「ロータリーは世界をつなぐ」という確信を胸に。とおっしゃっています。メッセージでは、R I が目指す方向は、ロータリーの組織としての勢いを回復させ⇒地域社会や家庭、職場に新しいつながりをつくり⇒国際社会との新たなつながりをつくり⇒世界をつなぐ役割を果たすことである。と理解できます。

1. 2790 地区の課題と地区スローガン

R I のテーマを受けて、諸岡ガバナーは、千葉県全 83 クラブを擁する第 2790 地区のロータリークラブがそれぞれに問題を抱え、将来の会員基盤が安泰という訳ではありません。

そこで、地区スローガンとして〈ロータリーから千葉を元気に〉と宣言しました。

2. 地区運営の基本的な考え方

- 1) 地区ロータリーを元気にするための目標として、地区 3,000 会員、300 女性会員、30 会員未満のクラブの基盤強化、3 クラブ新設を目指します。
- 2) 地区リーダーシップ・チーム運営方針として地区チームは目先の縦割り志向に走らずに、タテヨコ連携でつながりあい、クラブと地区の距離感を埋めるためにガバナー補佐と相

互連絡、連携に努める。

3. ガバナー補佐、クラブ会長、幹事並びにクラブ・リーダーの皆様へ

グループ内 各クラブと直接対話ができる機会を持ち、クラブを元気にする役割をお願いしています。

4. 2019-20 年度、市原ロータリークラブスローガン 繰り返しになりますが、国際ロータリーのマローニー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」、諸岡ガバナーは、〈ロータリーから千葉を元気に〉

私は、今年度市原ロータリークラブのスローガンとして

『一歩踏み出す勇気！』

～変わろうとする覚悟～

としました。

何ごとにも「成長したい」とは多くの人が心に抱く願望だと思えますが、実際それに向けて行動を起こしている人はごく一部だと思います。たぶん「きっかけ」を作れずにいるのではないのでしょうか。ロータリーの場合、新入会員の皆様は、入会したものの、ロータリーは何をする団体なの？例会には出席しても何をしたら良いの？ロータリーの専門用語が分からない？など、多くの疑問があり立ち止まり動けない状況ではありませんか。先輩会員の皆様は、最近の市原ロータリークラブは変わったなあ。ですとか、以前は本気でロータリーにのめり込んだが今はあの頃の熱が冷めてしまい、以前の歩みを止め静観してはいませんか？

確かに、市原ロータリークラブは、創立56周年の伝統あるクラブです。そのまま変わらなくても十分と言う方もいるかもしれません。変わらない事も、もちろん大事ですが、変わろうとする思い、変わろうとする覚悟、そして一歩踏み出す勇気も私は大事なことだと思います。今こそロータリー活動を通じて、生涯の仲間と出会い更に成長しましょう。

5. 委員会組織

2019-20 年度は、近年若い世代の新入会員の増加に伴い先輩会員との更なるコミュニケーションを図ることを早急な課題とします。更にクラブの長期的な計画を練り今後のクラブの発展に努めるようにする為、基本的な委員会組織は前年踏襲をベースに柔軟に対応いたします。また、今年度は、創立 55 周年記念演奏会 P T を発足しクラブの活動を広く地域社会の皆様にご認知していただけるようにいたします。

こうして各委員会がそれぞれの役割を分担しながら、委員会ごとに実施する活動や知識、手法を横断的に流通させ、組織全体を強化していければとおもいます。

1) 長期計画委員会

平野会長ノミニエを委員長に、会長、会長エレクト、直前会長、幹事、副幹事、幹事ノミニエからなる委員会として、中長期的視点で市原ロータリークラブの今後のあるべき姿を検討し、向こう3か年の事業の課題や近年の会員基盤の変化と拡充について対応策を協議しクラブの目標・長期的優先事項を検討します。また、「クラブ活力テスト」「会員満足度アンケート」を実施しクラブの現状分析をします。

2) 会員研修委員会

山本会員を委員長に、会員研修委員会は、新入会員の入会後のフォローやオリエンテーションの実施。継続的な研修会を例会または、炉辺会談を通じて実施します。また、時田ガバナー補佐のもと、インターシティー・ミーティング、地区ロータリー情報研修会への多くの会員皆様の参加を要請します。

3) クラブ管理運営委員会 & SAA

本郷会員を委員長に、

・プログラム

「知る」「好む」「楽しむ」の観点から、例会のプログラムの企画立案をロータリー特別月間も活用していただき、会員卓話や外部卓話、親睦例会を実施します。また、4/14～18日に規定審議

会が実施された事から、地区担当委員会よりその内容について卓話をお願い出来ればと思っています。

・出席

会員皆様にとって興味深い例会を企画し「例会に行きたい」と思うように工夫をし、欠席をしている会員にはヒヤリングを行い例会の企画に反映させるとともにメイクアップを奨励します。現在も実施している出欠席の確認は今年度も実施し、その状況をクラブ会員どうして共有し、欠席している仲間に声をかけをすると共に、食事のあまりの無いようにします。

・親睦

親睦は、クラブ活動の根幹と捉え、直前会長幹事慰労会の企画、親睦忘年例会の企画を通じて会員相互のコミュニケーションを図ります。また毎年恒例の市原中央ロータリークラブさんとの合同例会、袖ヶ浦ロータリークラブさんとの合同例会を実施します。さらに本日は、第4Gより多くの会長、幹事の皆様にお越しいただいています。これを機に、他クラブの例会に参加する機会を作りたいと思います。

・SAA

例会場所を移動して2年目となります。移動に伴う例会の設営や進め方、駐車場の利用状況等を再確認しルールを作成する。

お客様に対して、丁寧なおもてなしに努めます。

4) 会員増強・退会防止委員会 & 公共イメージ委員会

上野会員を委員長に、近年の会員増強により会員数52名でスタートしますが、今年度は会員純増8名とし会員数60名を目標とします。その際、女性会員の拡充と若手職業人の増強も目指します。

・会員維持

退会防止の観点から、入会后3年未満の会員は、ロータリーの楽しさを知る前に欠席が多くなりそのまま退会となりやすいので、紹介者を介し

て出席要請をする。その他、既存会員の個別出席状況を把握し機会を見て出席を要請します。

・職業分類

会員の職業分類表を再作成し、クラブを活性化させる為に必要な職業分類を抽出し、会員拡大の材料とする。

・広報

ロータリーの目的を広く一般の人に知らせる為に市原ロータリークラブの活動をPRします。また、下半期にはオリパラ機運も高まるタイミングでロータリー活動の発信を企画します。

・会報

地区表彰も受けた実績のある週報ですが、内容の見直しを実施し、更に充実した内容にする。

・ウェブサイト

ホームページの見直しと、現在準備段階のSNS (Twitter や Facebook) を実践活用出来る様にします。

4) 奉仕プロジェクト委員会 & ロータリー財団・米山記念奨学会委員会

野口会員を委員長に、

・職業奉仕

職業奉仕はロータリーの根幹です。多様性を認めたくて、職業上の高い倫理基準や役立つ仕事はすべて価値あるものという認識のもとで、会員の全てが職業奉仕に対する理解を深める事業をしていきます。

・社会奉仕

次年度は、地域貢献基金を創立55周年記念演奏会の資金負担のために中止しますが、このタイミングで、多様化する地域社会のニーズに応えるために、いろいろな分野の社会奉仕に視野を広げ、会員皆様の職業上の立場を生かしつつ地域社会のニーズを調査・分析し、他の団体と意見交換を行いながら、効果的な社会奉仕活動の発掘に取り組みます。

また、年に2回実施している挨拶運動については、年々参加者が増加していますので、今年度も

社会奉仕の実践事業として、引き続き実施します。

・国際奉仕

次世代を担う市原の子供達とペタリングジャヤロータリークラブとの交流は「国際理解、親善、平和の推進に寄与する奉仕活動を行う」との趣旨に基づき引き続き継続したいと思います。

・青少年奉仕

市原中央インターアクトクラブの活動を支援する為に、インターアクト例会に参加し、今どのような活動をしているか、困っていることは無いかの状況を実際に顧問教師、生徒とディスカッションの場を設けます。

・ロータリー財団

ロータリー財団は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。とあります。ロータリー財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。地区でも補助金の活用にも力を入れていますので、市原ロータリークラブでも地区補助金または、グローバル補助金を申請できる事業を長期計画委員会を中心に計画をします。ロータリー会員からの寄付が世界でよいことを行う財団のプログラムやポリオプラスを支えていること、ロータリー財団は私たち一人ひとりのものであることを、より実感していただけるよう努めます。

・米山記念奨学会

米山記念奨学会は、ロータリアンの寄付金を財源に高等教育機関で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリーとの交流を重視しています。奨学生一人ひとりに、ロータリークラブから世話クラブが選ばれ、ロータリーと交流します。

さらにその会員の中からカウンセラーが付いて日常の相談役となり、奨学生の留學生活が心豊かなものになるように配慮しています。例会に参加したり

、奉仕活動を体験もできます。奨学生には、かけがえのない経験となると同時にロータリアンにとっても、米山記念奨學事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。財源は、ロータリアンからの寄付のみで支えられています。そしていただいた寄付はすべて奨学生の為に使われています。趣旨を理解し寄付をお願いいたします。

6) 創立 55 周年記念演奏会プロジェクトチーム

箕輪会員を委員長に、今年度、市原ロータリークラブ創立 55 周年を記念して千葉交響楽団による演奏会を企画いたしました。千葉交響楽団は

やましたかずふみ
山下 一史 音楽監督を招聘し、心をゆさぶる演奏

は音楽愛好家をひきつけてやみません。また近年市内の中学校では、吹奏楽部の活動が盛んなこともあり、子供たちにプロの演奏を肌で感じてもらい今後の部活動に活かしてもらえればと思い、国分寺台西中学校とのコラボレーションのプログラムも企画しました。また、クラブ主催の「あいさつ運動」には小、中、高校生をはじめ関係団体の皆様には大変ご協力いただき、その感謝の思いを込めて開催いたしますので会員皆様のご協力をお願いいたします。

本年度は、会員皆様と一歩踏み出しロータリーの様々な活動を通してロータリー会員のみならず、それに関わったすべての人が元気で笑顔になれるロータリークラブを目指したいと思います。

最後に重ねて会員皆様のご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げまして、会長挨拶と運営方針といたします。

ありがとうございます。

第 2656 回 7 月例会

篠田会長 点鐘



バッジ交換

長田直前会長～篠田会長



箕輪直前幹事～福原幹事



会長就任挨拶



幹事就任挨拶



表敬訪問

時田ガバナー補佐ご挨拶



市原中央RC宮寺会長・田島幹事ご挨拶



袖ヶ浦RC津留会長・鶴田幹事



国際ロータリー第2790地区

2019-20年度諸岡ガバナーより 地区役員委嘱状が白鳥会員と津留会員に届きましたので、篠田会長より手渡されました。





委員会報告 長期計画委員平野会員

会員研修委員会山本会員

